

## Ⅶ 図書館および図書・電子媒体

### 1 図書、資料の所蔵数

(表41)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料の所蔵数 (点数)	電子ジャーナルの種類 (種類)	備考
	図書の冊数	開架図書の冊数 (内数)	内国書	外国書			
千葉図書館	215,252	214,200	2,854種類	558種類	12,610種類	5,000種類	
みずほ台図書館	147,599	141,519	608種類	119種類	4,461種類		
計	362,851	355,719	3,462種類	677種類	17,071種類	5,000種類	

[注] 1 雑誌等ですでに製本済のものは図書の冊数に加えてよい。

2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めること。

3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記すること。

4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載すること。

### 2 過去3年間の図書の受け入れ状況

(表42)

図書館の名称	2004年度	2005年度	2006年度
千葉図書館	5,320	7,464	7,142
みずほ台図書館	8,094	7,630	8,694
計	13,414	15,094	15,836

### 3 学生閲覧室等

(表43)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数 (A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合 (%) $A/B*100$	その他の学習室 の座席数 ( )	備考
千葉図書館	294	2,643	11.1		学部2,555人/大学院88人 (H18年)
みずほ台図書館	310	1,827	16.9		学部1,795人/大学院32人 (H18年)
計	604	4,470	13.5		

[注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えること。

2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入すること。

3 「備考」欄には学生収容定員 (B) の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入すること。